

2021年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年5月10日

上場会社名 株式会社キムラ 上場取引所 東
 コード番号 7461 URL https://www.kimuranet.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木村 勇介
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 八代 紀裕 TEL 011-721-4311
 定時株主総会開催予定日 2021年6月29日 配当支払開始予定日2021年6月30日
 有価証券報告書提出予定日 2021年6月30日
 決算補足説明資料作成の有無：無
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期の連結業績（2020年4月1日～2021年3月31日）

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	34,052	4.1	2,123	33.5	2,182	32.5	1,050	32.2
2020年3月期	32,710	0.4	1,590	7.5	1,647	6.9	794	3.2

(注) 包括利益 2021年3月期 1,442百万円 (52.4%) 2020年3月期 946百万円 (9.6%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年3月期	70.85	—	9.0	9.1	6.2
2020年3月期	53.58	—	7.3	6.7	4.9

(参考) 持分法投資損益 2021年3月期 一百万円 2020年3月期 一百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	23,991	14,117	50.7	820.72
2020年3月期	23,991	12,823	46.6	753.77

(参考) 自己資本 2021年3月期 12,173百万円 2020年3月期 11,180百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年3月期	2,538	△453	△1,797	3,123
2020年3月期	1,960	△599	△2,501	2,835

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00	148	18.7	1.4
2021年3月期	—	0.00	—	12.00	12.00	177	16.9	1.5
2022年3月期(予想)	—	0.00	—	10.00	10.00		13.5	

3. 2022年3月期の連結業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	17,800	0.0	1,300	△8.1	1,450	△1.4	700	△1.4	47.19
通期	34,000	△0.2	2,200	3.6	2,250	3.1	1,100	4.7	74.16

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2021年3月期:	15,180,000株	2020年3月期:	15,180,000株
2021年3月期:	347,170株	2020年3月期:	347,124株
2021年3月期:	14,832,857株	2020年3月期:	14,832,876株

(参考) 個別業績の概要

1. 2021年3月期の個別業績（2020年4月1日～2021年3月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	11,246	△9.7	547	△1.5	576	△1.8	376	10.3
2020年3月期	12,454	1.1	556	△8.1	587	△8.4	341	△29.0

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期	25.37	—
2020年3月期	23.00	—

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
2021年3月期	11,439		9,083		79.4		612.38	
2020年3月期	11,382		8,764		77.0		590.91	

(参考) 自己資本 2021年3月期 9,083百万円 2020年3月期 8,764百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用に当たっては、決算短信（添付資料）4ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(セグメント情報)	12
(1株当たり情報)	15
(重要な後発事象)	15

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な流行の影響を受け、経済活動の停滞や個人消費の低迷が続くなど厳しい状況となりました。日本のワクチン接種は諸外国に比べて開始時期、接種ペースともに遅れていることから感染症収束の見通しが立っておらず、依然先行き不透明な状況が続いております。

住宅業界におきましては、コロナ禍の影響による投資マインドや雇用環境の悪化と所得の伸び悩みから、新設着工戸数は減少し、リフォーム工事の需要も低迷しております。金融機関によるアパート建築への融資姿勢の慎重化などを背景に住宅投資は総じて弱い動きが続くと思われまます。

個人消費は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響から、宿泊・飲食サービスなどの業種で厳しい状況が続いております。引き続き感染者数を抑制するための様々な活動制約が残るほか、失業率の上昇など雇用環境の悪化もあり、当面は新型コロナ流行前を下回る水準が続く見通しであります。

このような状況のもと、当社グループでは、卸売事業における新商品開発と販売強化、小売事業における各種サービスの拡充によるお客様満足度の向上に努めてまいりました。これらの結果、売上高340億52百万円（前連結会計年度比4.1%増）、営業利益21億23百万円（同33.5%増）、経常利益21億82百万円（同32.5%増）、親会社株主に帰属する当期純利益10億50百万円（同32.2%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(卸売事業)

2020年度3月累計の全国における新設住宅着工戸数は812,164戸（前年同期比8.1%減）、当社の主力市場である北海道では31,772戸（同2.2%減）と前年を下回る水準で推移しております。その中で当社の業績に大きく影響を及ぼす持家は、全国で263,097戸（前年同期比7.1%減）、北海道で11,068戸（同6.4%減）と全国、北海道ともに前年を下回る水準で推移しております。

このような状況のもと、提案型モデル住宅「Skogのいえ」の全国展開とその商品群のブランド化を進め、自然素材の輸入関連商品、ダクトレス全熱交換換気システム「Air save」などの新商品開発と販売強化に努めてまいりました。しかしながら、新型コロナウイルス感染拡大の影響から住宅市場を取り巻く環境は厳しさが続いており、売上高104億89百万円（前連結会計年度比8.6%減）、営業利益7億28百万円（同13.1%減）となりました。

(小売事業)

ホームセンター業界においては、個人の節約志向は根強く、同業他社、他業種との競争の激化が続いております。このような状況のもと、お客様満足度の向上、接客力の強化による他店との差別化に努めてまいりました。新型コロナウイルス感染症の影響による巣籠もり需要の高まり、ペット専門店の新規開店も業績に寄与し、売上高212億33百万円（前連結会計年度比14.9%増）、営業利益14億30百万円（同69.3%増）となりました。

(不動産事業)

賃貸資産の適切な管理と効率的な運用を心掛けており、売上高3億50百万円（前連結会計年度比3.2%増）、営業利益2億65百万円（同12.6%増）となりました。

(足場レンタル事業)

業務の効率化による生産性の向上と経費節減に努めておりますが、新型コロナウイルス感染拡大の影響からリフォーム工事が減少していることに加え函館営業所開設による経費が先行したこともあり、売上高7億5百万円（前連結会計年度比23.1%減）、営業損失33百万円（前年度は営業損失6百万円）となりました。

(サッシ・ガラス施工事業)

工事現場での設計、監理、施工の基本を徹底することで業務の効率化に努めておりますが、前年度受注した大型工事の代替受注が今年度はなく、売上高12億73百万円（前連結会計年度比14.7%減）、営業利益42百万円（同46.5%減）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末における流動資産は90億49百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億17百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が2億88百万円増加したことによるものであります。固定資産は149億41百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億17百万円減少いたしました。これは主に投資有価証券が1億19百万円増加し、有形固定資産が2億29百万円、無形固定資産が1億円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は239億91百万円となり、前連結会計年度末に比べ0百万円増加いたしました。

(負債)

当連結会計年度末における流動負債は57億12百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億7百万円減少いたしました。これは主に未払法人税等が1億円、その他が2億22百万円増加し、短期借入金が9億28百万円減少したことによるものであります。固定負債は41億62百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億86百万円減少いたしました。これは主に長期借入金が6億95百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は98億74百万円となり、前連結会計年度末に比べ12億93百万円減少いたしました。

(純資産)

連結会計年度末における純資産合計は141億17百万円となり、前連結会計年度末に比べ12億93百万円増加いたしました。これは主に親会社に帰属する当期純利益10億50百万円及び剰余金の配当1億48百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は50.7%（前連結会計年度末は46.6%）となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、当連結会計年度末には31億23百万円となり、前連結会計年度末より2億87百万円の増加となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果による資金の増加は25億38百万円（前連結会計年度は19億60百万円の獲得）となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益が21億30百万円、減価償却費が7億17百万円及び、法人税等の支払額7億6百万円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果による資金の減少は4億53百万円（前連結会計年度は5億99百万円の使用）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出4億23百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果による資金の減少は17億97百万円（前連結会計年度は25億1百万円の使用）となりました。これは主に、短期借入金及び長期借入金の返済による支出16億23百万円、配当金の支払額1億48百万円等によるものであります。

(4) 今後の見通し

各事業別分野における施策は以下の通りです。

卸売事業において、次期の住宅市場は新型コロナウイルス感染症の収束が不透明であり弱含みで推移する懸念があります。そのような環境において、オリジナル提案型住宅「Skogのいえ」の推進によりキムラブランドの確立を目指すとともに、感染症対策として換気に関連した商品の販売拡大を図ります。

小売事業において、新型コロナウイルス感染症拡大による巣籠もり需要の高まりはホームセンター業界にとって追い風となりました。今後はリアル店舗の強みを一層活かすべく、専門知識の習得と接客の強化によりお客様にとっての付加価値を提供してまいります。また、『資材センター専門店』の出店により、幅広いターゲットへのアプローチを行います。

不動産事業においては、不動産動向の情報収集を行うとともに、所有不動産を活性化させて収益確保を目指してまいります。

足場レンタル事業においては、安定的な資材の入れ替えとメンテナンスを継続することで、お客様へ安心、安全を提供し更なる事業拡大に努めてまいります。また、施工の標準化と技術指導、安全パトロールを強化して施工力の向上を図ります。

サッシ・ガラス施工事業においては、キムラグループとしてのシナジー効果を十分に発揮し、業容拡大を図ってまいります。

以上により次期の業績見通しは売上高340億円（当連結会計年度比0.2%減）、営業利益22億円（同3.6%増）、経常利益22億50百万円（同3.1%増）、親会社株主に帰属する当期純利益11億円（同4.7%増）の見込みであります。

なお、上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国際的な事業展開や資金調達を行っておりませんので、日本基準に基づき連結財務諸表を作成しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,847,234	3,135,609
受取手形及び売掛金	2,316,934	2,272,041
電子記録債権	145,745	131,061
商品	3,304,690	3,307,367
販売用不動産	67,429	67,429
その他のたな卸資産	27,417	22,090
その他	139,993	122,641
貸倒引当金	△17,392	△8,330
流動資産合計	8,832,051	9,049,911
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,824,709	7,696,284
土地	2,813,367	2,813,867
賃貸用建物(純額)	620,990	589,538
賃貸用その他資産(純額)	34,623	30,512
賃貸用土地	1,452,416	1,452,416
リース資産(純額)	56,812	52,330
建設仮勘定	79,742	15,643
その他(純額)	266,038	268,146
有形固定資産合計	13,148,701	12,918,740
無形固定資産		
のれん	155,122	72,213
その他	147,679	130,371
無形固定資産合計	302,801	202,585
投資その他の資産		
投資有価証券	668,854	788,433
長期貸付金	9,837	7,509
繰延税金資産	493,993	484,587
その他	553,538	560,380
貸倒引当金	△18,286	△20,252
投資その他の資産合計	1,707,936	1,820,657
固定資産合計	15,159,440	14,941,984
資産合計	23,991,492	23,991,895

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,739,825	1,746,742
電子記録債務	376,483	361,142
短期借入金	2,776,100	1,847,500
リース債務	21,766	21,549
未払法人税等	440,582	541,316
賞与引当金	162,266	168,793
その他	802,561	1,025,195
流動負債合計	6,319,584	5,712,238
固定負債		
長期借入金	3,425,000	2,730,000
リース債務	35,046	30,781
繰延税金負債	17,121	15,829
再評価に係る繰延税金負債	164,277	164,277
役員退職慰労引当金	29,010	29,010
退職給付に係る負債	267,432	288,697
資産除去債務	327,689	333,367
その他	583,128	570,670
固定負債合計	4,848,705	4,162,634
負債合計	11,168,290	9,874,872
純資産の部		
株主資本		
資本金	793,350	793,350
資本剰余金	834,427	834,427
利益剰余金	9,443,860	10,346,413
自己株式	△132,934	△132,957
株主資本合計	10,938,702	11,841,232
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	160,328	250,751
土地再評価差額金	81,585	81,585
その他の包括利益累計額合計	241,914	332,337
非支配株主持分	1,642,584	1,943,453
純資産合計	12,823,201	14,117,023
負債純資産合計	23,991,492	23,991,895

（2）連結損益計算書及び連結包括利益計算書
（連結損益計算書）

（単位：千円）

	前連結会計年度 （自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）	当連結会計年度 （自 2020年4月1日 至 2021年3月31日）
売上高	32,710,243	34,052,702
売上原価	23,872,400	24,425,503
売上総利益	8,837,843	9,627,198
販売費及び一般管理費		
荷造及び発送費	304,275	279,979
従業員給料及び賞与	2,976,304	3,059,058
賞与引当金繰入額	162,266	168,793
退職給付費用	44,089	45,222
減価償却費	641,590	651,077
その他	3,119,156	3,299,572
販売費及び一般管理費合計	7,247,681	7,503,704
営業利益	1,590,161	2,123,494
営業外収益		
受取利息	2,556	2,287
受取配当金	17,284	17,928
仕入割引	80,755	75,389
その他	67,582	62,100
営業外収益合計	168,178	157,706
営業外費用		
支払利息	25,500	19,758
売上割引	77,641	69,711
その他	7,909	9,164
営業外費用合計	111,051	98,634
経常利益	1,647,289	2,182,565
特別利益		
固定資産売却益	296,597	—
特別利益合計	296,597	—
特別損失		
固定資産除売却損	627	11,364
固定資産圧縮損	339,346	—
投資有価証券評価損	18,690	9,262
減損損失	—	31,201
特別損失合計	358,664	51,828
税金等調整前当期純利益	1,585,222	2,130,737
法人税、住民税及び事業税	672,217	810,343
法人税等調整額	△66,634	△31,372
法人税等合計	605,583	778,970
当期純利益	979,639	1,351,767
非支配株主に帰属する当期純利益	184,905	300,885
親会社株主に帰属する当期純利益	794,734	1,050,881

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
当期純利益	979,639	1,351,767
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△33,138	90,405
その他の包括利益合計	△33,138	90,405
包括利益	946,500	1,442,173
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	762,041	1,141,305
非支配株主に係る包括利益	184,459	300,868

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	793,350	834,500	8,737,644	△132,934	10,232,560
当期変動額					
剰余金の配当			△177,994		△177,994
親会社株主に帰属する 当期純利益			794,734		794,734
非支配株主との取引に係る親 会社の持分変動		△72			△72
土地再評価差額金の取崩			89,475		89,475
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	△72	706,215	—	706,142
当期末残高	793,350	834,427	9,443,860	△132,934	10,938,702

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	土地再評価 差額金	その他の包括 利益累計額合計		
当期首残高	193,021	171,061	364,083	2,381,604	12,978,247
当期変動額					
剰余金の配当					△177,994
親会社株主に帰属する 当期純利益					794,734
非支配株主との取引に係る親 会社の持分変動					△72
土地再評価差額金の取崩					89,475
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△32,692	△89,475	△122,168	△739,019	△861,188
当期変動額合計	△32,692	△89,475	△122,168	△739,019	△155,045
当期末残高	160,328	81,585	241,914	1,642,584	12,823,201

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	793,350	834,427	9,443,860	△132,934	10,938,702
当期変動額					
剰余金の配当			△148,328		△148,328
親会社株主に帰属する 当期純利益			1,050,881		1,050,881
自己株式の取得				△23	△23
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	902,552	△23	902,529
当期末残高	793,350	834,427	10,346,413	△132,957	11,841,232

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	土地再評価 差額金	その他の包括 利益累計額合計		
当期首残高	160,328	81,585	241,914	1,642,584	12,823,201
当期変動額					
剰余金の配当					△148,328
親会社株主に帰属する 当期純利益					1,050,881
自己株式の取得					△23
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	90,423		90,423	300,868	391,291
当期変動額合計	90,423	—	90,423	300,868	1,293,821
当期末残高	250,751	81,585	332,337	1,943,453	14,117,023

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	1,585,222	2,130,737
減価償却費	713,303	717,152
のれん償却額	51,707	51,707
賞与引当金の増減額(△は減少)	9,001	6,527
貸倒引当金の増減額(△は減少)	7,842	△7,096
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	25,513	21,264
受取利息及び受取配当金	△19,841	△20,216
支払利息	25,500	19,758
投資有価証券売却損益(△は益)	375	—
投資有価証券評価損益(△は益)	18,690	9,262
有形固定資産除売却損益(△は益)	△295,970	11,364
減損損失	—	31,201
固定資産圧縮損	339,346	—
売上債権の増減額(△は増加)	6,167	59,043
たな卸資産の増減額(△は増加)	△78,249	2,649
その他の資産の増減額(△は増加)	683	△1,889
仕入債務の増減額(△は減少)	52,427	△8,423
未払消費税等の増減額(△は減少)	80,443	149,985
その他の負債の増減額(△は減少)	39,801	69,852
小計	2,561,965	3,242,882
利息及び配当金の受取額	19,840	20,215
利息の支払額	△25,721	△18,823
法人税等の支払額	△596,017	△706,126
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,960,066	2,538,147
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△410	△499
有形固定資産の取得による支出	△1,031,755	△423,553
有形固定資産の売却による収入	485,893	—
無形固定資産の取得による支出	△62,467	△30,790
有形固定資産の除却による支出	—	△1,707
投資有価証券の取得による支出	△4,561	△3,971
投資有価証券の売却による収入	1,037	—
投資有価証券の償還による収入	5,000	5,000
貸付けによる支出	△710	—
貸付金の回収による収入	8,418	2,327
出資金の払込による支出	—	△10
その他の収入	—	29
投資活動によるキャッシュ・フロー	△599,555	△453,174
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△450,000	△800,000
長期借入金の返済による支出	△922,700	△823,600
自己株式の取得による支出	—	△23
配当金の支払額	△177,604	△148,404
リース債務の返済による支出	△27,955	△25,068
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△923,552	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,501,811	△1,797,096
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,141,300	287,876
現金及び現金同等物の期首残高	3,976,700	2,835,399
現金及び現金同等物の期末残高	2,835,399	3,123,275

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、商品・サービス別に包括的な戦略を立案し、事業活動を基礎とした商品・サービス別のセグメントから構成されており、「卸売事業」、「小売事業」、「不動産事業」、「足場レンタル事業」及び「サッシ・ガラス施工事業」の5つを報告セグメントとしております。

「卸売事業」は、住宅用資材及びビル用資材等の販売を行っております。「小売事業」は、建築資材、DIY用品、日用雑貨等の販売を行うホームセンターを運営しております。「不動産事業」は、不動産の賃貸及び販売を行っております。「足場レンタル事業」は、建築足場のレンタルを行っております。「サッシ・ガラス施工事業」は、アルミサッシなどのガラス製品の販売、加工及び施工を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部売上高及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	卸売 事業	小売 事業	不動産 事業	足場レンタル 事業	サッシ・ ガラス施工 事業	合計
売上高						
外部顧客への売上高	11,480,957	18,477,446	339,359	918,076	1,494,403	32,710,243
セグメント間の 内部売上高又は振替高	459,819	5,290	41,562	844	52,508	560,024
計	11,940,777	18,482,737	380,921	918,920	1,546,912	33,270,268
セグメント利益又は損失 (△)	837,901	844,607	235,826	△6,481	80,267	1,992,122
セグメント資産	3,460,598	13,276,485	2,579,409	767,421	773,111	20,857,026
その他の項目						
減価償却費	29,493	563,104	73,013	20,056	15,189	700,857
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	376,433	416,864	85,216	115,096	2,384	995,994

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:千円)

	卸売 事業	小売 事業	不動産 事業	足場レンタル 事業	サッシ・ ガラス施工 事業	合計
売上高						
外部顧客への売上高	10,489,429	21,233,431	350,182	705,672	1,273,985	34,052,702
セグメント間の 内部売上高又は振替高	506,095	3,273	49,480	367	22,101	581,317
計	10,995,525	21,236,705	399,662	706,039	1,296,086	34,634,020
セグメント利益又は損失 (△)	728,128	1,430,042	265,448	△33,605	42,971	2,432,985
セグメント資産	3,317,241	13,247,994	2,581,489	795,956	834,369	20,777,052
その他の項目						
減価償却費	19,139	586,366	64,369	22,727	13,011	705,615
減損損失	—	—	—	31,201	—	31,201
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	41,951	308,025	62,799	106,944	480	520,202

4. 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

売上高	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	33,270,268	34,634,020
セグメント間取引消去	△560,024	△581,317
連結財務諸表の売上高	32,710,243	34,052,702

(単位:千円)

利益	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	1,992,122	2,432,985
セグメント間取引消去	3,058	1,153
全社費用(注)	△405,019	△310,644
連結財務諸表の営業利益	1,590,161	2,123,494

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(単位:千円)

資産	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	20,857,026	20,777,052
本社管理部門に対する債権の相殺消去	83,523	△61,018
全社資産(注)	3,050,942	3,275,862
連結財務諸表の資産合計	23,991,492	23,991,895

(注) 全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない現金及び預金、投資有価証券及び有形固定資産であります。

(単位:千円)

その他の項目	報告セグメント計		調整額		連結財務諸表計上額	
	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度
減価償却費	700,857	705,615	12,445	11,537	713,303	717,152
減損損失	—	31,201	—	—	—	31,201
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	995,994	520,202	94,231	13,290	1,090,225	533,492

5. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報
前連結会計年度(自2019年4月1日 至2020年3月31日)
該当事項はありません。

当連結会計年度(自2020年4月1日 至2021年3月31日)

(単位:千円)

	卸売 事業	小売 事業	不動産 事業	足場レンタル 事業	サッシ・ ガラス施工 事業	全社・消去	合計
減損損失	—	—	—	31,201	—	—	31,201

6. 報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報
前連結会計年度(自2019年4月1日 至2020年3月31日)

(単位:千円)

	卸売 事業	小売 事業	不動産 事業	足場レンタル 事業	サッシ・ ガラス施工 事業	全社・消去	合計
当期償却額	—	—	—	15,600	36,106	—	51,707
当期末残高	—	—	—	46,801	108,320	—	155,122

当連結会計年度(自2020年4月1日 至2021年3月31日)

(単位:千円)

	卸売 事業	小売 事業	不動産 事業	足場レンタル 事業	サッシ・ ガラス施工 事業	全社・消去	合計
当期償却額	—	—	—	15,600	36,106	—	51,707
当期末残高	—	—	—	—	72,213	—	72,213

(注) 「足場レンタル事業」において、のれんの減損損失31,201千円を計上しております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり純資産額	753.77円	820.72円
1株当たり当期純利益	53.58円	70.85円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	794,734	1,050,881
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(千円)	794,734	1,050,881
期中平均株式数(株)	14,832,876	14,832,857

(重要な後発事象)

該当事項はありません。